

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年 4月25日更新

事務事業名	老人ホーム入所措置事業				マニフェスト 関連	全庁横断 課題関連	集中改革 プラン関連
総合計画 体系	政策	2	福祉の健康		所属部	健康福祉部	課長名 佐藤 美和
	施策	7	高齢者の自立と支援体制の充実		所属課	高齢者支援課	担当者名 上村 純一
	施策の柱	28	高齢者の生活支援の充実		所属班	包括支援センター班 (内線)	1627
予算科目	会計 一般	款 3	項 1	目 4	事業連番 10497	根拠 法令	老人福祉法合志市老人福祉法施行細則
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	養護老人ホームの入所措置事業。老人福祉法施行時の昭和38年頃から。65歳以上の者であって、在宅において日常生活を営むのに支障がある者に対して、その置かれている環境の状況等を総合的に勘案して、老人ホームへ入所の措置を行う。
【業務の流れ】	相談、申請、実態調査、地域ケア会議、決定、菊池圏域合同入所判定会議、入所決定、入所措置費決定、入所負担金決定、入所立会、入所者の実態調査、退所事務、退所立会、収入申告書による入所措置費変更事務(7月)、入所負担金納付書発行送付(毎月)、措置費支払事務(毎月)、振込み手数料支払。滞納繰越事務、決算事務、収納年次処理事務。
【主な予算費目】	役員費・負担金補助及び交付金・扶助費。
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)	4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
養護老人ホーム入所措置3施設 13人(うち新規入所者1人、退所者1人)、特別養護老人ホーム入所措置1施設 1人、計14人の措置費を支払い、高齢者福祉の充実を図った。	前年度と同じく、養護措置が必要な高齢者に対し事務を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア 入所相談件数	人 養護老人ホーム入所者増による入所措置費(扶助費)の増
イ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
65歳以上の者であって、在宅生活において日常生活を営むのに環境上の状況や経済的事情に支障がある者。	(単位) 人
	→ ア 65歳以上の高齢者
	イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
低所得及び身寄りのない高齢者を保護・措置し安心した生活を送る。	(単位) 人
	→ ア 養護老人ホーム入所者数
	イ
*③成果指標設定の理由と 4年度目標値設定の根拠	
低所得及び身寄りのない高齢者を保護・措置し、安心した生活を送ることを意図として、養護老人ホームの入所者数とした。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	
0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	31年度 実績(決算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	3年度 実績(決算)	4年度 目標(当初予算)	5年度 予定	6年度 見込	7年度 見込
① 活動指標	ア	人	7	4	4	2	4	4	4	4
	イ									
② 対象指標	ア	人	14,589	14,813	15,059	15,293	15,232	15,403	15,548	15,655
	イ									
③ 成果指標	ア	人	15	14	14	13	14	14	14	14
	イ									
投資 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	3,807	5,315	5,575	5,846	6,108	5,575	5,575
		繰入金	千円							
	人 件 費	一般財源	千円	28,738	26,611	26,734	25,442	28,626	26,734	26,734
		(A) 事業費計	千円	32,545	31,926	32,309	31,288	34,734	32,309	32,309
		(A)のうち指定経費	千円	31,782	31,152	31,532	30,509	33,956	32,300	32,300
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	5	5	5	5	5	5	5
延べ業務時間	時間	720	900	700	535	700	700	700		
(B) 人件費計	千円	2,853	3,548	2,788	2,091	2,788	2,788	2,788		
トータルコスト(A)+(B)	千円	35,398	35,474	35,097	33,379	37,522	35,097	35,097		

事務事業名	老人ホーム入所措置事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	-------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 措置人数を増やすことが目的ではないので、目標達成とする。
	② 4年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 家庭環境、経済状況により在宅生活の継続が困難なケース相談が増えており、それに伴う入所件数も目標達成することが見込まれる。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 養護が必要な高齢者を積極的に措置する。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 老人福祉法の規定によるものであり、他の法の適用はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 入所措置が必要な高齢者を措置する費用であり削減できない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 入所相談が増加しており削減できない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 養護を必要とする高齢者に対する、法に定められた措置であり、公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 老人福祉法の規定によるため、行政が行なうべき業務である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

認知・身体機能の低下や同居家族の問題 (介護力低下・経済面・虐待) 等により自立し安心した生活が困難な人の相談が増えている。適切な調査・協議を行い、他の制度を用いても生活改善の余地がない場合に措置入所につなげることができた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						